

平成25年度予算見積調書

課室名：管財課

担当名：設備、電気施設、総務・財産管理

内線：2598

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B3	県有施設とことん省エネ推進事業			一般会計	総務費	総務管理費	財産管理費	県有財産管理営繕事業費	
事業期間	平成25年度～平成25年度	根拠法令	なし			戦略項目	09 新エネルギー埼玉モデルの構築		
						分野施策	040201 環境に配慮した産業社会の構築		
1 事業の概要 県有施設において効果が高く普及が見込まれる新技術を導入し、省エネルギー及びCO2排出量削減を図る。併せて維持管理費の低減を図る。 (1) とことん省エネ推進事業 64,174千円 (2) 未利用地の太陽光発電事業者への貸付 0千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア とことん省エネ推進事業 64,174千円 エコタウンプロジェクトに合わせて、東松山地方庁舎に新技術の空調等、省エネ設備を集中的に導入することで徹底した省エネを図り、その効果を広くPRする。 ア) デシカント空調設備設置 29,000千円 イ) LED照明設備等設置 5,870千円 ウ) 太陽光発電設備設置 29,304千円 イ 未利用地の太陽光発電事業者への貸付 0千円 (2) 事業計画 ア とことん省エネ推進事業 平成25年度：エコタウンプロジェクトに合わせた取組として、東松山地方庁舎に新技術であるデシカント空調設備、LED照明設備を導入し、その電力を太陽光発電により賄う。また、タブレット端末等を活用した省エネの見える化を実施し、来庁者等へPRする。 平成26年度：来庁者へのPRを継続する。 イ 未利用地の太陽光発電事業者への貸付 長期に利用が見込めない未利用地を太陽光発電事業者へ貸付け、その収入を財源に充てる。 平成25年度：貸付事業者募集・貸付開始(10月) / 平成26年度：貸付継続 初年度は562千円、次年度以降は1,125千円を見込む (3) 事業効果 ア 施設整備により、年間光熱水費 743千円、CO2 16.1トンの削減が図れる。 ア) デシカント空調設備設置 年間光熱水費 291千円、CO2 5トンの削減。 イ) LED照明設備設置 年間光熱水費 152千円、CO2 3.7トンの削減。 ウ) 太陽光発電設備設置 年間光熱水費 300千円、CO2 7.4トンの削減。 イ 未利用地の有効活用、再生可能エネルギーの活用、歳入の確保、未利用地の維持管理費の削減。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 未利用地を民間事業者へ貸付け、太陽光発電設備を設置する。 (5) その他 【デシカント空調設備とは】乾燥剤(デシカント)を用いて除湿及び加湿を行う空調システム。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 地域活性化事業債の元利償還金の30%を後年度、基準財政需要額に算入									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 人件費 9,500千円×0.7人=6,650千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	64,174	財産収入	562	県債	63,000			612	64,174
前年額	0							0	